

活動報告・情報交換 など

出席メンバーの勉強や活動を含む、近況報告をしてもらいました

- ・ **NCK会員登録** 2016年度のNCK会員登録をスタートしました。継続の方も、新規登録の方もまずは登録を → <https://chouseisan.com/s?h=5eef61d379d64dac80fc1ab76befbc0c>
- ・ **3/19 傾聴講座** NCKが主催した「認知症サポーターのための傾聴講座」は盛況・好評でした！p.3をご覧ください。4/26の勉強会でこのビデオ視聴とふり返しを行います。
- ・ **NCK総会** 5/21(土)には毎年恒例のNCK総会を行います！総会の前には特別勉強会も行いますので、ぜひご参加ください！詳細はまた紹介します。
- ・ **P&A REBT練習会** 好評の『P&A REBT練習会』第4回を行います(5/7(土)13:30～)。ぜひご参加を！
- ・ **ビジターご参加** 吉武さん(初めて)、岡野さん(5回目)、藤田秀雄さん(3回目)が来てくれました！
- ・ **その他、情報交換や近況など**

※ この内容は会員の個人的な活動を含むため
HP掲載版では割愛させていただきます。

今後の予定

次回以降の予定です。ぜひご参加を !!

※ 毎月第1木曜・第3火曜日はNCKの勉強会です！(4月以降は第2木曜・第4火曜日が基本になります)

4月14日(木) 19:00～21:00 テーマ：カウンセリング実習
(19:30までに入ればポイントがつきます) 場所：人形町区民館 4号室

4月26日(火) 19:00～21:00 テーマ：『認知症サポーターのための傾聴講座』のビデオ視聴とふり返し
(19:30までに入ればポイントがつきます) 場所：人形町区民館 3号室

5月7日(土) 13:30～16:30 P&A REBT研究部会主催：第4回P&A REBT練習会(誰でも参加OK!)
(19:30までに入ればポイントがつきます) 場所：人形町区民館 2号室

5月の定例の勉強会は **5月12日(木)** と **5月24日(火)** です。

5月21日(土)にはNCKの総会(と特別勉強会)を行います。(いずれも人形町区民館)

場所詳細：人形町区民館 <http://mappage.jp/S/S04.php?L=12&X=2.4397608735314&Y=0.62275808064978>
NCKへのお問い合わせは→ <http://www.nihonbashi-counseling.org/%E3%81%8A%E5%95%8F%E5%90%88%E3%82%8F%E3%81%9B/>

今回は外部講師としてEAPの会社の相談室長を務めておられる脊尾大雅先生に来て頂いて、

EAP業務とEAPカウンセラーの仕事
～EAPはメンタルだけではない時代です～

と題し、EAP(従業員援助プログラム)の実際について下記についてお話し頂きました。



外部講師 脊尾大雅先生



- ・ EAPとは
- ・ EAPカウンセラーの1日
- ・ 今までで苦勞したこと、大変だったこと、良かったこと
- ・ 現在の話題と課題
- ・ EAPカウンセラーに求められるスキルと視点

※ 資料の詳細は添付資料(会員・準会員限定)を参照ください

EAPで行っているサービスは右の通りですが、会社によって違う場合もあるそうです。

ちなみに「従業員の家族」として対象になるのは1親等(同居でなくても)、2親等(同居の場合のみ)だそうです。

実際の業務は相談業務以外にも研修や利用状況報告(3ヶ月ごと)、職場復帰のためのグループセッション等があります。面談や相談対応が多い日は右のように忙しくなってしまうこともあるそうです。

以下、質疑応答の内容です。

- Q. 長期セッションになったときなど、「依存されている」と感じることは?
- A. あえて依存させることもある。その後、健全な距離にしていく。「依存」については「ものわかり良すぎない」ことが重要だと思う。良すぎると依存を招くので。
-
- Q. メールベースでの相談は非効率では?
- A. 最初はそう思ったが、スキルが上がってくるとともに費用対効果が逆転する
-
- Q. Skypeなどは使用する?
- A. いまのところオフィシャルには使用していない。今後使用することになると思うが、直接の面接の代用にはならないと思う。「来てもらう」ことにも意味がある。
-
- Q. 社会保険福祉士になろうと思った理由は?
- A. もともとの研究テーマと関係しているから。

「Employee Assistance Program (従業員援助プログラム) またはEAPは以下の2点を援助するために作られた職場を基盤としたプログラムである」

- ① 職場組織が生産性に関連する問題を提議する。
- ② 社員であるクライアントが健康、結婚、家族、家計、アルコール、ドラッグ、法律、情緒、ストレス等の仕事上のパフォーマンスに影響を与えうる個人的問題を見つけ、解決する。

EAPによる直接のサービス
注：EAPによる直接のサービスの対象となるものは、次の3つのグループとする。

- a) 従業員ならびにその家族と認められる者
- b) 組織のリーダー
- c) 組織全体

カウンセラー業務

- ・ 契約企業社員/家族からの相談対応(*1) (*2)
- ・ 研修 (ラインケア研修、セルフケア研修など)
- ・ EAP利用状況報告(*3)
- ・ 契約企業へEAPのPR活動 (コラム作成など)
- ・ 契約企業人事部等に対する、職場環境改善等の提案、コンサルティング
- ・ ストレスチェック実施 (別途契約)
- ・ 派遣相談実施 (別途契約)

EAPカウンセラーのある日の1日(MIH)

- ・ 10時：Aさん面談 (職場復帰支援 (休職中))
- ・ 11時：Bさん面談 (職場復帰支援 (休職中))
- ・ 12時：Cさん電話相談 (職場復帰後フォロー)
- ・ 12時半：お昼ご飯
- ・ 13時：新規電話相談発生
- ・ 14時：Dさん電話相談 (家族について相談)
- ・ 15時：ご飯続き
- ・ 15時半頃：企業の人事担当者から相談電話発生→その後ご飯の続き
- ・ 16時半：Eさん面談 (職場復帰支援 (休職中))
- ・ 18時：Fさん面談 (仕事のことについて相談)
- ・ 19時：Gさん電話相談 (プライベートの相談)

編集後記

会報作成担当のコメント・つぶやき… などなど

間がちょっと空いて久しぶりの会報ですが、その間に傾聴講座をやったり新年度に突入したりしてますね… (汗)。傾聴講座は私もサポートで行きましたが、とても好評でよかったです。3ページでその様子を紹介していますのでぜひご覧ください。あと、忘れちゃいけないのがNCKの会員・準会員の登録です。そのまま継続の場合も登録と会費支払が必要なので、お忘れなきようよろしくお願いします! 【水口】

3/19に順天堂東京江東高齢者医療センターにて傾聴講座を行いました。

今回は認知症の方に対応する医療従事者の方を対象にした講座として、『認知症サポーターのための傾聴講座』と題して実施しました。

この「傾聴講座」はNCKで作ったプログラムで、これまでに10回実施しています(詳細は第105回の勉強会で紹介してます)。今回もその内容をベースにしています(下記参照)。120分で実施しました。



ファシリテーター 木村さん ファシリテーター 辰口さん ファシリテーター 豊田さん



イスはこんな感じでセッティングしておきます



講義部分はこんな感じで進めます

- | | |
|---|---|
| <p>【1】 ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 守秘義務のお願い ・ 傾聴とは何か? ・ 傾聴のメリット <p>【2】 「ダルマ」体験をしてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「聴き手の態度」の違いを実感してみよう <p>【3】 傾聴について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傾聴に必要な態度 (受けとめる・気持ちを感じる) ・ やっちゃダメ! 傾聴のNG行動 ・ 話し手を受け入れる・尊重する 傾聴マインド <p>【4】 傾聴練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「受けとめる」聴き方をしてみよう ・ 人の「聴き方」を観察してみよう ・ 「聴いてもらう気持ち」を感じてみよう <p>【5】 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご感想 ・ 傾聴の意味と効果 <p>質疑応答・NCKの紹介・「決めポーズ」</p> | <p>↓</p> <p>ファシリテーター
木村さん
約25分</p> <p>↓</p> <p>ファシリテーター
辰口さん
約15分</p> <p>↓</p> <p>ファシリテーター
豊田さん
約50分</p> <p>↓</p> <p>ファシリテーター
木村さん
約20分</p> <p>↓</p> <p>NCKメンバー
石井さん
約10分</p> |
|---|---|

受講者：19名様

ファシリテーター以外のサポートメンバーとして
石井さん 柿本さん 佐藤さん 中原さん 水口が参加



二人一組で「ダルマ体験」をやっているところです



三人一組(+NCKメンバー)での傾聴練習の様子です

ご参加された方のご感想です。

自分の話し方や聴き方のクセを実感することができてよかった。

普段も「傾聴」を意識してたつもりだったが、やれていなかったと実感した。明日からまたあらためてやろう。

貴重な経験をさせてもらったと思う。自分が話し手のとき、沈黙をきらってすぐ話し始めるクセがあることがわかった。

観察者がいたのがよかった。貴重な経験だった。

こういう場って必要だと思う。

質疑応答で出たご質問です。

Q. 傾聴に向き、不向きってあるの?
「この人はできない」って人はいますか?

Q. 自分と価値観が違う人の話を傾聴すると疲れたりしませんか?

Q. 患者さんからのクレーム対応などで、傾聴すると、それが「受け入れられた」と誤解されるかも? 防ぐ方法はない?

Q. 聴き手が質問するとき、どういうことに気をつけたらいい?

Q. (逆の立場で) 「はいはい」という感じでこちらの言うことを聴いてくれない相手にちゃんと聴いてもらうにはどうしたらいい?

この傾聴講座の様子は、受講者の承諾を頂いたうえでビデオ撮影させて頂きました。4/26の勉強会では、このビデオを見て振り返りなどを行います。当日参加できなかった方も勉強になると思いますのでぜひご参加を!! 質疑応答での受け答えの内容や、反省会で出た意見や今後の課題なども検討します。